（郵便物認可）

壹年三百六十五日毎日刊行の新聞紙ハ日本國中ニ唯時事新報あるのミ

（定價二錢）

時事新報

第千七百九十四號
明治廿年十一月廿六日　土曜日
電丁表十月十二日（乙、未）

時事新報定價
時事新報ハ一年三百六十五日一日モ休刊セズ其代價遞送料廣告料ハ左ノ如シ
一枚二錢〇一箇月前金五十錢〇三箇月前金一圓五十錢〇六箇月前金三圓
一箇年前金六圓
〇時事新報社ヨリ直接ニ郵便ニテ發送スルモノニ限リ本文定價ノ外ニ一箇月二十六錢ノ郵送料ヲ申受ク

時事新報廣告料別量一行ニ付

行廿四字詰	一段限	二日以上 六日迄	七日以上 十五日迄	一十六日以上
自一行至十行	十錢	八錢	七錢二厘	六錢八厘
自十一行至卅行	九錢	七錢	六錢三厘	五錢九厘五毛
三十一行以上	八錢	六錢五厘	五錢八厘五毛	五錢五厘

時事新報

倫敦タイムスの英國東洋航路論

加奈陀太平洋鐵道の開けたる爲め英國東洋の航路全く趣を變じて向後日本國は殊に其衝に當るを免れざる可しとの次第は本月十四十五兩日の社説欄内に於て開陳しる所なり然るに今爰に本月二十四日の日本メール新聞と見るに近着の倫敦タイムスに掲げたる加奈陀新線路論の抜萃あり其大意は我輩前日の所論に殊あらざれども尚は一層其趣を詳叙して英國東洋航路の特に加奈陀線路に依らざる可らざるの理由を悉すに足る者あれば其要略を譯して爰に登載す

加奈陀新線路い現今別に稱して帝國線路と名けたるやと云ふに太平洋航海の場合と除き他は皆英吉利帝國の領土内を經過するの線に基況たる者にして政略上の考より之を見るも其要用他れ從來の三線路に同じからざるの理亦これに外ならず蓋西線路に依る時い勢ひ佛蘭西伊太利埃及の三箇國に其路を假るの姿ある者ふして其他沿岸尚は西班牙、葡萄牙、モロッコ、アルヂール、亞剌比亞の諸領地を蹈ざる可らず次に喜望峯の線路と雖も佛蘭西、西班牙、葡萄牙及びモロッコ回箇國の領地と跨ぐを免れずして西阿弗利加の大陸と諸嶋との間にも歐洲列國の所領ふ屬する殖民地相連續せり他の一線南米角峯の航路も同斷の次第にして唯餘分に南米諸國の虞を增すのみなれば以上の三路孰れも不安心ありと云はざる可ふず然るふ此帝國線路に至りてい北太西洋の諸嶋は英領に屬するもの多くして此處の諸港より頗地續たに海と隔え、ハリファクスの港に渡り同所よと鐵道を利用してヴァンクーヴァルに達し、轉じて濠洲みて支那なる諸港の地方に運ずるは容易にまて萬一外國と事あるの日には此線路最も英國商賈の利を爲す可きは當然あり又軍略上の便利い一にして足らずふ雖も就中此線路の基礎ある地方三箇所に石炭の供給充分あるは隨一の利益なりと即ち太西洋の終局端たるハリファクスの近傍幷に太平洋に在りてはヴァンクーヴァル、鑑洲に在りてはシドニー二箇所の近傍に良石炭多ければ汽船の用に一箇所を欲くの憂あらずふ雖も蘇西若くは喜望峯の線路に比ふ時は遙ふ莫大の費用と掛け本國より石炭を運送するの不都合ありて其里程もポルトセヴェで三千英里アデンまで四千五百里コロンボ若くは喜望峯まで六千五百里、不便實に上なきなと

帝國線路の他の諸線に比して距離短縮あるの一事は事實に於て蔽ふ可らず方ち其里程表を左に掲ぐ（但し一英里を以て一位とす）

英國より

日本	加奈陀	蘇西	喜望峯
上海	九、二五〇	一三、七五〇	一五、五〇〇
香港	一〇、五〇〇	一二、五〇〇	一四、二五〇
新嘉坡	一一、〇〇〇	一一、〇〇〇	一六、〇〇〇
ブリスベイン	一二、五〇〇	九、五〇〇	一三、二五〇
レドニー	一二、〇〇〇	一二、二五〇	一四、二五〇
オークランド	一二、〇〇〇	一二、〇〇〇	一三、七五〇
		一二、〇〇〇	一三、七五〇
		一四、〇〇〇	一二、五〇〇

（譯者云右の中ブリスベーンは新南威爾斯嶋又オークランドい新西蘭嶋の港なり）

又加奈陀線路は時間を節するの一點に於て他の諸線に優る所四箇條あり第一本線い地球々面の旅行に於て大圓環の線に當るが故に經度の距離最も近き處に於て緯度を横過そるを得べし第二途中海上は氣候冷涼にして旅客幷に航海者の便利は素より、商風若くは颶風等に逆らふの憂極めて稀なり第三本線中、二千五百英里の距離は直線に鐵道交通の便あり第四航海の線路常に直線にして途中迂餘限りなき海岸に沿ふの不便もなく又沿岸の晴穏其他危險に遇ふの恐を知らざるは皆本線特有の利益なる可し

世には英國東洋の郵便航路は今日既に蘇西線若くは喜望峯線に於て引受け居れば此上更に新線路を設くるの必要あかる可しと議論する者もあり例へは此程の事なり政府が東洋郵便物遞送の補助として一年一億円（一磅は金貨五圓）の保護金を約したる如況も其論の事實に顧はれたる者あらんと雖も今日英國東方の貿易は實に非常の進歩を表して驚くべきものの少かふず去る千八百六十年に東方諸國と貿易高は一箇年總計三億八千萬磅なりしに二十五年を踰えて一昨八十五年には八億八千萬の多況に達し若ふも此順序にして進むとすれば今より二十五年の後ち即ち一千九百十年度には其額廿一億七千萬に上る可きの割合なり且夫れのみならず電信鐵道の便開けて支那の一國歐洲とれ商賈を盛んにするに至らば英國東洋の輸船往來は今に比して如何なる類繁と致さんやも知る可らず殊に加奈陀線路ハリファクスの港は英國を距るふと僅に二千四百英里之と今の紐育港に航する者に較ふれば航海日數に二日を減ずるは數に於て尚の利益にして英國リヴァプールとヴァンクーヴァル間に交通一日にして達もるは容易あり英國政府に於ても早く之に着目ふ一昨八十五年の十月十九日を以て郵便船の寄港を出さしめ、來八十八年の二月より二週間に一度づゝヴァンクーヴァル及香港の間に定期航海と例さ郵便物運送の事務を引受くる者ふは政府より特別に保護を下す可しと其應募者と求めたるふ申込み人二名ありて其一方は政府との約束整ひ航海用の汽船は総て英國海軍省の指定する方式に從て之を製造し一時間殊力十六ノット以上と駛せて戰時には巡邏艦若くは運送船に用に供し其他軍用品運送の事に就ても實費の外に明りふ運賃を貪らざる等諸種の條款も協議の項目中に在りと云へり兎に角に加奈陀線路を保護するは大切に手段にして今日蘇西運河と經過すれば日本までの距離一萬三千英里なれども加奈陀線路に依る時は其距離九千里、上海までは同く從前の航路里程一萬二千里なりと雖も是れも新線路に因て往來ふれば二千里と省くと得べふ東洋の貿易に從事する英國商人若くは本國に在る所の製造家の爲めに計るも此帝國線路の変通は實に要用ありと稱す可ふなり

官報

○遞信省告示第二百十八號
左ノ郵便局名ヲ改稱ス

郡	舊稱	改稱
國		
長門國厚狹郡	埴生浦	埴生
長門國豐浦郡	彦島本	彦島

明治廿年十一月廿五日　遞信大臣子爵榎本武揚

○遞信省告示第二百十九號
安藝國安藝郡呉港ニ三等電信局ヲ置キ呉電信局ト稱シ來十二月一日ヨリ其事務ヲ取扱ハシム
明治廿年十一月廿五日　遞信大臣子爵榎本武揚

○東京府達第七十一號
郡區役所
人民ノ所持スル印紙ハ別紙ノ場合ニ於テ其同郡區内ニ在ル印紙賣捌人ニ之ヲ賣渡スコトヲ得
但此場合ニ於テハ印紙類賣捌人ヲシテ其買取グル事由及ヒ賣渡人ノ住所氏名ヲ帳簿ニ詳記置カシムヘシ
（別紙ハ別ニ頒フ）
明治廿年十一月廿五日　東京府知事男爵高崎五六

○發明煉石灰　横須賀造船所營舎長海軍屬熊谷直孝は本務の暇多年の苦心と以て一種の煉石灰を發明し其試驗著しき好結果を奏したり通常煉石灰の原質は石灰及火山灰を以て之を製するものなるに熊谷直孝發明のものは火山灰に代ふるに土炭粉と以てするなり此土炭は之を鹽酸中に溶解するに其成分硅酸二〇●九六、礬土九●六九、苦土一●一、石灰五●六七、酸化鐵六●一五、水一九●六九に付て神奈川縣下久良岐郡及鎌倉郡三浦郡等到處に之を見るはあく就中横須賀地方の如きは地盤全く此土炭より成れるを以て山腹水崖容易に之を採掘し得へし故に火山灰に比するに其價格の低廉なるは固より言と待たず且つ之を以て製せる煉石灰は試驗上其硬化力を査定するに通常の煉石灰に超ゆるふと殆んと二倍にして今二種の煉石灰を取り之を比較するに硬化力の輕重と價格の差違等左の如し

通常煉石灰及熊谷直孝發明煉石灰試驗比較表

種類	通常煉石灰				熊谷直孝發明煉石灰			
練合割合	火山灰	石灰	價格		土炭粉	石灰	價格	
	六六六	三三三	一四、九八五		六六六	三三三	一四、九八五	
經過日數	水中 十五日	同 陸上 十五日	同	一四、七三三	水中 十五日	同 陸上 十五日	同	六、〇〇〇
切斷面一ミリメートル平方二付	四四、四		五六、七		八七、九		一二、二	
和立・代價 壹坪	二九、七一三				二〇、九八五			

此に由りて之と觀れは熊谷直孝發明煉石灰は價格著しく低廉ふして其効力は却て甚大なりとす近頃造船所に於て此煉石灰を以て船臺と造築せ之に單に二箇月船臺、即ち其面積百五坪の纜鍋のみにして通常煉石灰を用ふるに比し費用一千三百七十五圓五十錢を減却せり將來費ふ此費額煉石灰を永中又い地中の土工に使用せは其功利の甚ふ顯著ならんと愛し屢を寄れさる所あり（海軍省）

○汽車收入月表　十月中汽車運輸收入は左表の如し（鐵道局）

旅客賃金	貨物賃金	合計
三七、八四〇円三一〇	九、四九九円九一五	四七、三四〇円二三五
九、三〇六、〇六五	一、七九四、一五一	一一、一〇〇、二二六

東京間	横須賀	横浜間	府県間

渡江津	隅山間	高崎川	横戸間
二、九五一、三〇	四三、一一四、三〇	一五、三三五、三八	大津間
武豊間	敦賀間	合計	一〇〇、三四五、八八

又日本鐵道會社運輸

上野	大宮	品川	旅客
青森	郡山	赤羽	間

雜

○英國公使ブランケは中なる日に目下歸省中なる日東京の任地に歸るは東京の任地に歸るは只其終りを告げたるに達したれば或い數あるとたり

○醇親王の病氣　ロンドン上に記したるが其後報執したるが爲め大に心配したる海軍省の事務任せしめて親王に休君恩の辱きに感して尚は五日は一度ムス新聞に見ゆ

○旅順港の虎列刺　たるが其後の報に據たる趣き尤も未だ聞ども死亡者の割合い働者が不潔なる水を潔なる水を飲用し居の甚だ寡かりし又同に引續き流病の流行的にて船員早き英國中なるが其中二艘又至るべし聞く所に奈陀汽船よりい一日

○桑名英學專門學舎たる者なるが其後退に百三十八名に達し

○ロクソン氏の訴訟上に記載されさる件も記せしが右の訴訟ン氏の掛ふにて開廷

○太平洋郵船の競爭　郵便汽船會社にては的にて船員早き英國

○國馬通信　十一日肥後丸乘客　昨十六日鹿又長崎控訴院檢事巡廻氏同土木會社城師の爲め奉職し即日竹書擂磨金山丸い竹書擂磨餘程便利を與へしが云ふ

○厳原直徹の原因　厳原直徹の原因